



平成 27 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 三菱食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 井 上 彪
(コード：7451 東証第一部)
問合せ先 IR室長 布目 清秀
(TEL. 03-3767-5204)

(訂正・数値データ訂正)「平成 26 年 3 月期 決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について

平成 26 年 5 月 7 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期 決算短信[日本基準](連結)」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

連結財務諸表の「連結貸借対照表」および「連結財務諸表に関する注記事項」の記載に一部誤りがありましたので、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

○添付資料 7 ページ

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

【訂正前】

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当連結会計年度 (平成26年 3月31日)
(単位：百万円)		
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	※3 2,551	※3 521
受取手形及び売掛金	294,440	285,830
有価証券	42,000	5,000
商品及び製品	52,278	55,275
原材料及び貯蔵品	22	25
繰延税金資産	3,089	2,221
未収入金	50,075	53,198
短期貸付金	35,520	59,655
その他	2,995	2,869
貸倒引当金	△1,843	△114
流動資産合計	481,130	464,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,824	25,640
機械装置及び運搬具（純額）	3,150	2,819
工具、器具及び備品（純額）	1,014	955
土地	38,048	36,315
リース資産（純額）	5,535	5,298
建設仮勘定	131	59
有形固定資産合計	※1 74,705	※1 71,089
無形固定資産		
のれん	4,043	3,725
ソフトウェア	2,146	2,076
リース資産	275	183
その他	208	198
無形固定資産合計	6,674	6,184
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 22,674	※2 21,852
長期貸付金	16	12
繰延税金資産	3,479	3,718
その他	20,226	<u>16,428</u>
貸倒引当金	△1,962	△776
投資その他の資産合計	44,434	41,234
固定資産合計	125,814	118,508
資産合計	606,945	582,992

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当連結会計年度 (平成26年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	※3 2,551	※3 521
受取手形及び売掛金	294,440	285,830
有価証券	42,000	5,000
商品及び製品	52,278	55,275
原材料及び貯蔵品	22	25
繰延税金資産	3,089	2,221
未収入金	50,075	53,198
短期貸付金	35,520	59,655
その他	2,995	2,869
貸倒引当金	△1,843	△114
流動資産合計	481,130	464,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,824	25,640
機械装置及び運搬具（純額）	3,150	2,819
工具、器具及び備品（純額）	1,014	955
土地	38,048	36,315
リース資産（純額）	5,535	5,298
建設仮勘定	131	59
有形固定資産合計	※1 74,705	※1 71,089
無形固定資産		
のれん	4,043	3,725
ソフトウェア	2,146	2,076
リース資産	275	183
その他	208	198
無形固定資産合計	6,674	6,184
投資その他の資産		
投資有価証券	※2 22,674	※2 21,852
長期貸付金	16	12
繰延税金資産	3,479	3,718
退職給付に係る資産	—	371
その他	20,226	16,056
貸倒引当金	△1,962	△776
投資その他の資産合計	44,434	41,234
固定資産合計	125,814	118,508
資産合計	606,945	582,992

4.連結財務諸表

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(連結損益計算書関係)

※4 減損損失

【訂正前】

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前連結会計年度

用途	種類	場所
事業用資産	建物及び土地等	愛媛県伊予市他 7 件
遊休資産	建物及び土地等	埼玉県所沢市他 15 件

当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。

時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,027 百万円）として特別損失に計上しております。

減損損失の内訳は、土地 900 百万円、建物及び構築物 114 百万円、その他 12 百万円であります。なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額又は使用価値により測定しており、正味売却価額は、主として公示価額を基準として評価し、使用価値については将来キャッシュ・フローを 2.6%で割り引いて算出しております。

当連結会計年度

用途	種類	場所
事業用資産	建物及び土地等	長野県塩尻市
賃貸用資産	<u>土地及び建物等</u>	高知県宿毛市他 1 件
遊休資産	建物及び土地等	東京都江東区他 19 件

当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。

時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,143 百万円）として特別損失に計上しております。

減損損失の内訳は、土地 917 百万円、建物及び構築物 202 百万円、その他 23 百万円であります。

なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額又は使用価値により測定しており、正味売却価額は、主として公示価額を基準として評価し、使用価値については将来キャッシュ・フローを 2.7%で割り引いて算出しております。

【訂正後】

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前連結会計年度

用途	種類	場所
事業用資産	建物及び土地等	愛媛県伊予市他 7 件
遊休資産	建物及び土地等	埼玉県所沢市他 15 件

当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。

時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,027 百万円）として特別損失に計上しております。

減損損失の内訳は、事業用資産 490 百万円（内、土地 468 百万円、建物 16 百万円及びその他 5 百万円）、遊休資産 536 百万円（内、土地 431 百万円、建物 97 百万円及びその他 7 百万円）であります。

なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、主として公示価格を基準として評価し、算出しております。

当連結会計年度

用途	種類	場所
事業用資産	建物及び土地等	長野県塩尻市
賃貸用資産	建物及び土地等	高知県宿毛市他 1 件
遊休資産	建物及び土地等	東京都江東区他 19 件

当社グループは、継続的に損益の把握を実施している単位を基礎にグルーピングを実施しております。具体的には、事業用資産は管理会計上の区分に基づいた地域別に、賃貸用資産、遊休資産及びのれんは個々の資産ごとに資産のグルーピングを行っております。

時価の著しい下落又は営業損益が悪化している資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（1,143 百万円）として特別損失に計上しております。

減損損失の内訳は、事業用資産 504 百万円（内、土地 503 百万円及びその他 0 百万円）、賃貸用資産 87 百万円（土地 87 百万円）、遊休資産 552 百万円（内、土地 326 百万円、建物 202 百万円及びその他 22 百万円）であります。

なお、当該資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、主として公示価格を基準として評価し、算出しております。

以上